

新生児医療連絡会 2022年第1回総会【通信】 結果  
2022年7月26日(火)配信 8月1日(月)結果報告・役員候補受付

配信事項

新生児医療連絡会 会員各位

事務局長 大木 茂

7/26にお送りしました新規役員体制に関しまして、皆様からのご意見を募りご賛同いただけましたので、引き続き Quota 枠での新役員候補を公募します。

現時点で連絡会会員であればどなたでも立候補可能です。自薦他薦を問いませんので事務局までお申し出ください。(jna@medica.co.jp) 他薦の場合はあらかじめ被推薦者の内諾をお願いします。

記

将来の新生児医療を担う幅広い人材発掘と育成を目指し、これまでの地域ごとのブロック枠役員に加え、年齢枠・女性枠・地域周産期枠のいわゆる Quota 枠を公募します。

1. 公募枠と定数

- ①女性 2名
- ②任期開始時に50代未満 4名 (任期最長5年)
- ③地域周産期 2名 (任期最長5年)

2. 細部協議事項

- ・会員限定全員を対象に自薦他薦問わず公募する。
- ・候補者が定数を超えた場合は他の構成要素なども勘案して、現行役員会で最終決定する。個別の選出理由は公表しない。
- ・Quota 枠に欠員が生じた場合は随時公募する。
- ・公示後8月末をめどに募集を打ち切り、9月中に役員会で候補者の中から新役員を決定する。

以上

他の候補者の状況により、申し出のあった枠以外での任命もあり得ますことをご容赦ください。(例：女性枠での立候補者を地域周産期枠で任命など)

(代理送信)

新生児医療連絡会 jna@medica.co.jp

## 新生児医療連絡会の“役員”とは？

新生児医療連絡会（以下、連絡会）（<https://www.jnanet.gr.jp>）では、このたび役員制度の改定を行い、**Quota枠**（選出時50歳未満枠、女性枠、地域周産期センター勤務枠）を新たに設けました。連絡会の会員であれば自薦他薦を問いませんので、新生児医療の発展のために一肌脱いでやろうという志のある方や、あの人を是非にと思われている方は、是非ご応募をお願いします。

役員の仕事ですが、「年3回（小児科学会〈4月〉、周産期新生児医学会〈7月〉、新生児成育医学会〈11月〉）の会期中）開かれる役員会に出席し、各自の視点で議題提案もしくは協議に参加をする」となります。

ところで、そもそも連絡会は何をするのか、新生児成育医学会（学会）とどう違うのか、疑問を持たれている方もいらっしゃるかと思います。役員の顔ぶれを見ると、確かに連絡会と学会とで重複している方が多く、明確な線引きは難しいところですが、学会は、新生児医学に興味ある人の集まりで、ローテート研修医や他領域小児科医、他職種の方にも広く門戸を開いているのに対し、連絡会は、原則NICU勤務医師・新生児科医の集まりです。また、学会は公益社団法人としての都合上、種々の制限がありますが、連絡会は任意団体（同好会と同じ）であり、構成員の自由な意志で迅速で幅広い活動が可能です。

新生児医療の現場医師の視点で「こんな事をしたい」とか「こうなって欲しい」「これで困っている」を日々感じていませんか？ 一人の勤務医の立場では全国の新生児科医や国や行政、学会を含む他団体と連携や交渉は困難ですが、もし会員の皆さんがやりたいことがあれば連絡会に提案していただき、役員会や総会で承認されれば、連絡会の名前を使って皆さん自身が他の会員の協力・助言を得ながらの実現が可能になります。提案によっては「それは学会の名前でやったほうが」とか「連名で連絡会が動くけど費用は学会が筋だよ（逆も）」という連携も臨機応変に行われています。役員になることで、連絡会の活動決定に直接関与することが可能になります。

参考までに、ここ数年の役員会で話し合った協議・報告議題を列挙してみますね。

\* 今後の執行部・役員会体制にかかる意見交換

\* 「被災地の避難所等で生活をする赤ちゃんのためのQ&A」ウクライナ語・ロシア語  
翻訳（[https://www.jnanet.gr.jp/document/pdf/qafamily\\_u.pdf](https://www.jnanet.gr.jp/document/pdf/qafamily_u.pdf)）

[https://www.jnanet.gr.jp/document/pdf/qafamily\\_r.pdf](https://www.jnanet.gr.jp/document/pdf/qafamily_r.pdf))

\* 災害時の新生児医療体制復旧手順ver.3英語翻訳について

([http://jsnhd.or.jp/pdf/teijunsho\\_ver3\\_text.pdf](http://jsnhd.or.jp/pdf/teijunsho_ver3_text.pdf)) 英語翻訳は公開予定

\* 千葉県台風19号災害時の県外からの人的支援実施

\* 働き方改革に関するアンケート調査実施

\* ウェビナー（厚労省 医政局 災害等緊急時医療・周産期医療等対策室長）開催

\* 熊本大学NICUへの人的支援実施

\* News Letter「教えてあなたの地域事情」掲載

\* 「被災地の避難所等で生活をする赤ちゃんのためのQ&A」の改訂と多言語化

(<https://www.jnanet.gr.jp/document/saigaitaisaku.html>)

これら以外にも、各種の全国調査への施設住所データ等提供に関して、随時通信で役員会を開催し、協議・承認を行います。さまざまな全国調査から施策に関することまで赤ちゃんと家族のためにできることを一緒にやっていきましょう！！